

平成26年度
東京海洋大学
「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」
長期インターンシップ派遣者募集要項

平成26年3月

1. 「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」の概要と目的

本プログラムは、本学の特色の一つである海洋の観測・調査分野を中心に、本学と関連企業・団体等との連携を強化し、関連企業等のニーズを踏まえつつ、本学が養成する人材と産業界が求める人材のマッチングの機会提供を行います。

これにより、高度な知識と技術を持つ専門技術者として、船舶による海洋調査・研究、環境アセスメント、水産資源調査、鉱物資源調査等に関わる企業等で活躍できる人材の育成体制を整備し、本学の研究に携わっているポストドクター等のキャリアパスの多様化を図ります。

本プログラムは、ポストドクターと博士課程(後期)学生を対象としたインターンシップ事業であり、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・インターンシップ推進事業」の一環です。

2. 募集対象者及び応募資格

- ・博士後期課程在籍学生
- ・ポストドクター

【ポストドクターの定義】

40歳未満の博士号取得者(博士課程に標準年限以上在籍し、所定の単位を取得の上退学した(いわゆる満期退学者)を含む。)で、以下のいずれかに該当する者

- ① 東京海洋大学又は他の大学や研究機関において任期付の研究職にある者(任期付助教を含む)
- ② 任期付研究職又は任期付助教の任期を終了し、現に任期付の研究者ではない者
- ③ 博士課程(後期)を修了し、任期付の研究職等についていない者
- ④ 博士号取得後10年以内の者(自然科学分野及び人文・社会分野)

※注1. 40歳未満とは公募締切時の年齢とします。

注2. 外国で博士号取得した後、日本の大学、独立行政法人等の研究機関での一定期間(1年以上)の任期付き研究職歴がない外国人は募集対象者とはなりません。(外国で博士号を取得した日本国籍の研究者で【ポストドクターの定義】①～④に該当する者は、日本の研究機関における研究歴がなくても対象となります。)

3. 募集人員(予定)

- 博士課程(後期)学生: 3名
- ポストドクター: 4名

4. 応募要件

- ・国内の企業において、通算3か月程度のインターンシップに従事すること。
- ・自身の専門分野だけでなく、幅広い知識や基本的技術の習得に積極的であること。
- ・企業等における博士号取得者のキャリア開拓に意欲的であること。

5. インターンシップ研修先

- ・環境調査業界 ・食品・バイオ関連業界 ・流通関連業界
- ・各種コンサルティング業界 ・船舶・機械等関連業界 等

※応募者からの要望と各種企業とのマッチングを図ることを予定しています。

6. 応募方法

(1) 必要書類

- ・応募申請書(所定の様式) 1部
- ・指導教員の推薦書及び評価書(所定の様式、厳封して提出すること) 1通
- ・学位取得証明書又は学位取得見込証明書 1通

※原則として、応募書類は返却しません。

※応募書類で取得した個人情報、本取組以外には使用しません。

(2) 応募の締切

締切日時は設けませんが、募集人員に達し次第終了予定。

※提出方法: 持参及び郵送

※郵送の場合は、簡易書留とし、封筒に「応募申請書在中」と朱書すること。

(3) 応募申請書の提出先

【持参又は郵送】

〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

東京海洋大学品川キャンパス白鷹館2階

キャリア開発室宛

7. 選考方法

応募申請書により選考を行います。

※具体的に企業等に就職を目指す応募者を優先します。

※必要に応じて面接による選考を実施する場合があります(実施する場合には応募者へ個別に連絡します)。

※面接による選抜を実施する場合の旅費等は支給できませんのであらかじめご了承ください。

8. 選考結果発表

東京海洋大学キャリア審査・評価委員会の審査終了後に、長期インターンシップ応募申請者に連絡します。

9. 採用された場合のインターンシップ期間

約3か月

原則として、平成26年4月1日から平成27年3月31日までに行います。

10. 業務報告および実施報告について

インターンシップ期間中及び期間終了後に所定の書式の報告書を提出し、キャリアワークショップにおいて報告を行います。

11. 本件問い合わせ先

東京海洋大学 キャリア開発室

Tel:03-5463-0575 e-mail: career@m.kaiyodai.ac.jp

12. その他

・ インターンシップ派遣者に選抜された場合は、インターンシップ開始前にキャリア開発室の事前講習を受けていただきます。

長期インターンシップ・プログラム 研修生が就業体験をするための制度ガイドライン

1. 共通事項

- ① 長期インターンシップは、基本的にアカデミア以外での就業体験が原則です。国公立大学(大学の管理下にある産学共同研究施設等を含む)および国の研究機関(独立行政法人研究機関を含む)は対象とされません。但し、地方公共団体の研究機関等での研修は可能です。
- ② 連続した3か月以上の研修期間を想定しています。但し、あらかじめ計画されていれば期間を分割した実施も可能です。
- ③ 長期インターンシップは基本的に就業体験する研修制度です。研修生単独での就業および出張はできません。
- ④ 海外にある企業での研修も可能です。(留学生は、日本国内にある企業のみが対象です。)但し、3か月以上滞在可能なビザの取得が必要です。
- ⑤ 自宅(又は宿泊先)から就業場所までの日々の通勤費が支給されます。
- ⑥ 研修期間中に就業場所から業務で出張する場合の交通費は支給されません。自己負担か、研修先企業との話し合いになりますのでご注意ください。
- ⑦ 事前に、機密保持等を含む「インターンシップの実施に関する協定書」を、研修先企業と本学との間で締結させていただきます。

2. ポストドクターのみに適用

- ① 研修期間中は、本学キャリア開発室が研修生を非常勤職員として雇用することで給与が支給されます。従って、労働者災害補償保険および雇用保険が適用されます。
- ② 勤務地(就業場所)が遠隔地の場合に、最終段階の面接等のために往復旅費が支給されます。
- ③ 勤務地(就業場所)が遠隔地の場合には、自宅から勤務地までの往復の交通費が支給されます。
- ④ 勤務地(就業場所)が遠隔地の場合には、研修期間中の宿泊費が支給されます。但し、ホテル等以外で賃貸契約のできる家賃等に限り、(事前に、必ずお問い合わせ下さい。)
- ⑤ 海外の企業で研修する場合も、海外勤務地(就業場所)までの往復の旅費が支給されます。また、その他の条件も同様に適用されます。
- ⑥ あらかじめ計画されていれば、当初の勤務地(就業場所)以外の事業所等での研修も可能です。また、その為の移動旅費(1往復分のみ)も支給されます。

3. 博士後期課程の学生の場合

- ① 自宅から就業場所までの日々の通勤費のみ支給されます。
- ② その他の給与、旅費、宿泊費等は支給されません。自己負担か、研修先企業との話し合いになりますのでご注意ください。

尚、個別の事情や詳細につきましては、キャリア開発室にお問い合わせください。

(問い合わせ先)東京海洋大学キャリア開発室 TEL03-5463-0575/E-mail:career@m.kaiyodai.ac.jp

キャリア開発室 HP よりダウンロードできます (<http://www.kaiyodaicareer.com/internship/>)

文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ポストドクター・インターンシップ推進事業」

「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」

長期インターンシップ応募申請書

履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月 日	西紀 年 月 日生 (男・女)
現住所	〒 電話番号:() - e-mail : 上記以外に日中連絡が可能である電話番号 :		
学 歴*	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
	年 月	入学・卒業	
取得学位	取得・取得見込み		
インターンシ ップ先として 希望する 業界及び 業務内容	希望する業界名: 希望する職務内容:		
職 歴	これまでの職歴全てについて雇用期間、雇用元、従事した職務内容を記してください		
インターンシ ップの経験	受入先、期間、業務内容(インターンシップの経験がない場合は「なし」と記入する)		
企業等との 共同研究の 経験・実績	相手先企業等と応募者が果たした役割(共同研究の経験がない場合は「なし」と記入する)		

*学歴は高等学校卒業以降を全て記載してください。

1. 長期インターンシップに対する抱負

(下記の2項目を中心に1,000字以内で記述)

- ① インターンシップへの志望理由
- ② インターンシップに求めるもの(希望する海洋関連産業等、身につけたい技術や知識等について分かり易く記述する。インターンシップを希望する具体的な企業名がある場合は記載すること。)

※1枚で記載できない場合には、本紙をコピーし記載してください。

2. 現在までの研究状況

(研究内容を中心に、1,000 字以内で記述すること。図表を含めてもよいので、分かり易く記述すること。様式の改変及び追加は不可。)

- ① これまでの研究の背景、問題点、研究方法、特色及び独創的な点について。
- ② 応募者のこれまでの研究経過と得られた結果について整理し、上記①で記載したことと関連づけて説明すること。3の研究業績欄に記載した論文等を引用する場合には、同欄の番号を記載し、応募者が担当した部分を明らかにすること。

※1枚で記載できない場合には、本紙をコピーし記載してください。

3. 研究業績

(下記の項目について、応募者の研究業績を記載すること。その際、通し番号を付し、該当がない項目に関しては「なし」と記載すること。研究業績の応募者氏名は、太字でかつアンダーラインを付すこと。)

- (1) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(印刷済及び掲載決定済のものに限る。査読の有無を区分して記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文と同一の順番で記載する。)、題名、掲載誌名、巻号、開始頁-最終頁、発行年をこの順で記入すること。(2)の学術雑誌等又は商業誌における総説や解説に関しても同様。
 - ② 頁番号等が発行されていない採録決定済のものに関しては、それを証明できるものを別添する。
- (2) 学術雑誌等又は商業誌における総説や解説(上記(1)に同じ)
- (3) 国際学会における発表(既に発表が終了しているものについて、口頭・ポスターの別を区分して記載すること。)
 - ① 著者(応募者を含む全員の氏名を論文等と同一の順番で記載する。)、題名、学会名、場所、発表年月、を記載すること。
 - ② 発表者には○印を付すこと。
- (4) 国内学会・シンポジウム等における発表(上記(3)に同じ)
- (5) 特許等(公開もしくは取得について明記する。)
- (6) その他(受賞歴等)

(研究業績の続き)

平成 年 月 日

平成26年度応募者に関する推薦書及び評価書

「海洋関連人材キャリアパス開発プログラム」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、長期インターンシップの派遣者(博士学位取得者・博士学位取得者見込み者)として推薦します。

所属機関・部局・専攻

職 ・ 氏名

印

連絡先(電話 ・ e-mail)

① 応募者との関係

- ② 応募者の研究姿勢・忍耐力、研究の進捗状況、専門的知識・技量、着想力・創造力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、将来性などについて記入してください。また、研究の独創性や特色も明記してください(その研究が共同研究である場合は、特に申請者の当該共同研究において果たした役割及びその寄与の程度が分かるように記入してください)。